

サンライズ2丁目町会 令和7年度通常総会議事録

1. 開催日時：令和7年5月16日（金曜日）18時30分～19時30分
2. 開催場所：室蘭ガスサービス2階研修室
3. 会員総数：85世帯
4. 出席者数：82世帯（当日出席者21世帯 委任状提出者61世帯）
5. 議決事項：
 - (1) 報告第1号「令和6年度事業活動報告」 報告どおり承認
 - (2) 報告第2号「令和6年度決算」 報告どおり承認
 - (3) 監査報告 報告どおり承認
 - (4) 議案第1号「令和7年度事業計画」 異議なく原案のとおり可決
 - (5) 議案第2号「令和7年度予算」 異議なく原案のとおり可決
6. 議事の経過及び発言要旨：
 - (1) 開会（司会）（開米副会長）
 - (2) 会長挨拶（熊谷会長）
 - (3) 議長選出（石村智幸氏）
 - (4) 議事録署名人選出（小沼静香氏、守屋幸雄氏）
 - (5) 総会成立の宣言
事務局より、本日現在の会員数は85世帯、出席者21世帯及び委任状提出者は61世帯の合計82世帯で、規約第15条及び17条の規定に基づき会員の2分の1以上の出席があることから、本総会は有効に成立したとの報告がなされた。
7. 議事：
 - (1) 議案第3号「令和7年度役員選任（案）」
新役員体制で議事を進めるため議案第3号から審議し、5期目の役員6名及び監査1名のうち事業役員 田中憲明、事務局 上田奏の2名が退任し、新たに事業役員として守屋幸雄、坂雅人、小沼静香の3名を選任、副会長を佐藤誠、事務局を開米広樹とする選任する案について了承された。
 - (2) 報告第1号「令和6年度事業活動報告」
＜事務局より報告＞
令和6年度は前年度と同じ役員体制で活動し、4月のゴミ箱の増設、6月と10月の2回の清掃活動、9月の津波避難訓練、令和7年3月ゴミステーションのカラス対策、備品庫の設置、死角視認ミラー設置のほか、補助金の請求、寄付手続き、各種会議出席について報告された。年度内の役員会開催回数は12回。
＜質疑＞なし
 - (3) 報告第2号「令和6年度決算」
＜会計より報告＞
令和5年度繰越金：902,860円
令和6年度収入：1,536,949円（町会費、地域整備協力金など）
令和6年度支出：862,605円（会議事務費、募金など）
令和6年度から7年度への繰越金：674,344円 となった。

＜質問＞
➡10 班小山田氏：町会員逝去にあたり香料について班長はどのように対応するのでしょ

うか。

回答（石岡）：逝去の情報については、役員が確認し、後日役員よりご家族に直接お持ちしております。したがって、班長が対応することはございません。

(4) 監査報告

<監事より報告>

令和7年4月9日に会計帳簿および領収書などの関係証票を監査し、適正に処理されていること認めたとことについて報告された。（鈴木監事欠席のため代理で石岡会計より）

<質疑> なし

(5) 議案第1号「令和7年度事業計画」

<事業役員より説明>

①ゴミ箱の設置、整備、カラス対策、②町会だよりの電子閲覧と超過 HP、LINE の活用、③6月、10月のごみ拾い及び草刈り、④街灯、死角視認ミラーの設置、整備、⑤備品庫の設置と備品の整備について報告された。

(6) 議案第2号「令和7年度予算」

<事業役員より説明>

収入：1,155,196 円（町会費、協力金など）

支出：1,155,196 円（ゴミ箱増設、寄付など）繰越増減はない見込み。

<質疑> なし

(7) 議案第4号「町会役員のインセンティブ（動機付け）について（案）」

<事務局より説明>

今後の役員の担い手を募り持続的に町会運営を進めていくため、町会役員に対し年間 1 人当たり 5,000 円を交通費等実費と別に支給する町会規約の改正を提案。

<意見>

- ➡ 1 班平山氏：基本的には賛成。ただ、報酬を支給している他の町会はお祭りの企画や街頭啓発活動など実質的な活動や事業をもっと実施していると思われるので、町会内での交流を実施すべきと思う
- ➡ 8 班青柳氏：町会設立当時よりも高齢化が進んでおり、退職した方にも役員を担ってもらい少しずつ町内の交流する活動が増えてくれば支給額をもっと増額しても良いと思う。

回答（熊谷）：官公庁との交渉や諸会合への出席などそれなりの負担もあること、また少額ということで役員が持ち出しで対応していることもあり、今後の役員になる方に少しは納得感をいただいて担っていただけることを意図して報酬を設定した。いただいたご意見も考慮しながら、今後行事など企画していければと思います。

(8) その他

①「広報誌のデジタル化について」

町会 HP、LINE の開設、班長さんの負担軽減、環境への配慮などから「広報むろらん」の冊子配布要否についてアンケートを実施、回答のあった 74 世帯中 42 世帯から「冊子希望」との回答があったことから引き続き従来どおり配布を継続します。

<質疑>

- ➡ 10 班小山田氏：広報誌のデジタル化について、電子版より冊子のほうが見やすいので継続を希望する。将来的に冊子がなくなる？

回答（熊谷）：冊子の希望世帯への配布は継続する。配布がなくなることはない。

- ➡ 1 班平山氏：広報誌配布部数に応じて補助金が出ているのでは？町会の予算としては貴重な収入である。

回答（開米）：配布を減らした分補助金が減額となるのはご指摘のとおりです。

②「津波防災について」

令和6年6月より東地区自主防災会主催の「津波防災推進会議」に毎月出席し、9月5日に一斉避難訓練にも参加。令和7年度も同様の活動が予定されている。今年度から線路横断避難路の設置などが進められることとなり、今後も情報が入り次第周知する。

③「東地区町会連合会への加入について」

東地区町会連合会より改めて加入の打診があり、会員の意向を確認したうえで回答することとなった。

現状、同連合会が組織する自主防災会には津波防災が生命にかかわることであるため求めにより参加している状況だが連合会には加入していない。

<質疑>

- ➡ 4 班久保氏：東地区町会連合会に加入した場合のメリットは？

回答（開米）：連合会からは「子供が参加する祭りなどの行事共催」「災害時等の相互協力・連絡体制」などを説明されています。

<意見等>

- ➡ 1 班平山氏：以前イオン駐車場で実施していた盆踊りなどは東地区町会連合会で開催している行事の一つ。加入すると役員や協賛金などの負担が発生することから、これまで加入は断っている経緯がある。

（熊谷）：他町会では、青年部、婦人部など複数の部があり、それに所属する方で企画対応しており役員だけが対応しているわけではない模様である。

<審議結果>

加入によるメリット・デメリットを総合的に判断し、当町会としてはこれまで通り連合会への加入はしない方針とすることで可決され、後日事務局から連合会へ回答することとなった。（5/20 連合会 羽立氏へ回答（開米））

(9) 新班長紹介

（出席者）4 班橋本氏、5 班山本氏、6 班石村氏、8 班青柳氏、10 班小山田氏

(10) 閉会

この議事録は事実と相違ないことを確認します。

令和7年5月27日

議 長

石 村 智 幸



会議録署名人

小 沼 静 香



会議録署名人

守 屋 幸 雄

